



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 会津若松市立第六中学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒 計 90名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間・保健体育科)</p> <p>② 行事名 (車いすバスケットボール体験とパラリンピアン講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピアンと交流し、生徒が体験することで、思いやりの心や、共生社会実現について考える機会とする。 ・かけがえのないレガシーを、心と体に残し、福島の誇りを醸成する。 ・パラリンピアンからの講話を聞き、夢・強い意志・勇気をもってこれから進んでいこうとする意欲を持たせる。
5 取組内容	<p>○校内推進委員会の設置・事業計画の立案・推進テーマの決定</p> <p>○オリンピックの聖火トーチの校内展示</p>  <p>○全校集会 「パラリンピックに関する知識を広げる学習」(体育主任)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界、日本の歴史を知る。 <p>「パラリンピックと道徳を関連付けた学習」(道徳主任)</p> <p>○車いすバスケットボール体験・パラリンピアン講演会</p> <p>10月6日(水)(総合的な学習の時間・保健体育科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす6台で操作練習(全校生) 

	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすリレー（代表3チーム） ・ミニゲーム体験 （女子バスケ部代表対パラ） （男子生徒代表対パラ） （教員代表対パラ） ・パラリンピアン講演会 講演テーマ「夢」 講師 増子 恵美 氏 （福島県障がい者スポーツ協会）  <p>障がいがあるとは思えない、明るく気さくな増子氏の話術とリードで、生徒たちは車いす体験や講演会と、これからの生き方に大きな影響を与えていただいた機会となった。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>年度初めに、聖火トーチ実物を見る機会をもった上で、パラリンピックに関する事前学習を行った。さらに、実技体験と講演会を行ったことで、オリンピック・パラリンピックに関する意識が高まった。パラリンピアンの方々が、気さくで明るい方々であり、障がい者に対して、偏見をもたずに、生徒たちが普通に接する様子をうれしく感じた。</p> <p>本事業を通して、生徒たちのオリンピック・パラリンピックの知識・理解が広がっただけでなく、教職員自身も担当ごとに分担して事前学習したことで、パラリンピックについての理解が深まる相乗効果が得られる体験となった。実物や本物のもつ輝きや印象は、何物にも代えがたく、生徒たちにとって貴重な体験となった。</p> <p>この体験活動を経て、障がいのあるなしだけでなく、いろいろな人間がいること、努力や夢を持つことの大切さ、多様性を認める共生社会を築いていくことの大切さを肌で感得することができた。このようなまたとない機会を与えていただいた。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>○単に講演会を開くというだけでなく、車いす体験を取り入れたこと。</p> <p>○パラリンピアンとの連絡・調整を行う中で、障害をもった方がどのようなことに困っているかの視点をもつような機会があればということで、道徳教育推進教師による全校道徳授業を実施したこと。担当による障がいに関わるTV動画の一部分を視聴し、感じたことを話したり、感想を述べたりする機会を作り、相手の立場になって考えられる思いやりや優しさを身につけてほしいと設定した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○生徒たちの興味・関心や、実情に合った体験にしていくために、複数回の競技種目の体験ができる予算的な措置があればなお良いと感じた。そして、前年度の教育課程編成時に、計画的に各学年ごとのテーマを設定しての調べ学習にできればと感じた。</p> <p>○実技体験や講演会の実施期日については、オリンピック・パラリンピックへの機運を高めるために、開催前の5～7月の実施を検討していたが、パラリンピック関係者は、この時期に準備で多忙のため調整が難しく、オリンピック・パラリンピック閉会後の</p>

	10月になってしまったこと。
9来年度以降の 実施予定	いろいろなスポーツ、いろいろな国、いろいろな人々がいることに気づかせ、お互いに思いやりの心を持つことの大切さや、共生社会の実現に向けて考えなければならないこと、今自分たちが出来ることを考えさせ、授業で学ぶだけでなく、生徒会活動や総合的な学習の時間を活用して「想い→実践」につなげることができるようになりたいと考えている。